

食品飲料業界 10 社による、障害者同士の初めての交流会

「エッキョウサミット」を 12 月 9 日(火)に開催

障害者活躍推進の取り組みが評価され、
障害者雇用エクセレントカンパニー賞（産業労働局長賞）も受賞



サッポロビール(株)は、食品飲料業界の企業 10 社による、障害者同士の初めての交流会「エッキョウサミット」を、障害者週間である 12 月 9 日(火)に開催しました。

障害者の働く環境課題の一つとして、各企業の障害者同士の情報交換や交流の場が少ないことがあげられます。当社は、各企業で活躍している障害者が各々の視点で業務上の工夫や成功体験、日頃感じている課題などの情報を交換することで、今後の障害者活躍推進における課題解決および個々人のモチベーションアップに繋がりたいという思いから、交流会を企画しました。

今回の交流会では、当社の思いに賛同いただいた食品飲料業界の企業 10 社・計 40 名が集まり、障害者同士の交流会を実施しました。

当日は、障害の特性ごとにチームを編成し、日頃工夫していることの情報交換と個人では解決が難しい課題の解決方法を考えるワークショップを実施しました。情報交換では、体調管理の工夫や業務・日常生活を効率的に行うためのツール、行政サービスの活用方法、周囲とのコミュニケーション方法など、障害特性に応じた実践的な情報が共有され、参加者にとって新しい発見がありました。また、課題解決に向けたワークショップでは、個人では解決が難しい課題に対し、企業や社会にどのように働きかけられるかなど、具体的なアプローチ方法をチームで検討し発表しました。今後は、今回得られたアイデアを実行に移し、成果報告会を実施するなど、企業の枠を超えた障害者活躍推進の取り組みを継続していきます。

サッポログループでは、「潤いを創造し 豊かさに貢献する」という経営理念のもとサステナビリティ重点課題の中で「多様な人財の活躍」を最注力課題の一つに位置付け、障害者雇用および障害者の働きやすい環境整備を推進しています(注 1)。例えば全グループ従業員向け障害理解推進セミナーの実施、新卒向け障害者インターンシップの実施、障害者同士の交流を目的としたコミュニティ「エッキ

ョウトーク」の設立など、社内外での活発な取り組みを展開し、障害特性等に応じて最大限活躍できる環境整備を推進しています。

これらの取り組みを評価いただき、当社は「令和7年度障害者雇用エクセレントカンパニー賞」の産業労働局長賞を受賞しました。本賞は、東京都産業労働局が都内の企業を対象に選定している賞で、障害者法定雇用率を達成している都内企業のうち優良な取り組みを行う企業を選定し、「東京都障害者雇用優良取組企業」として「障害者雇用エクセレントカンパニー賞」を授与するものです。今回の受賞では、障害者の正社員登用実績や新卒総合職としての正社員採用実績、障害者コミュニティの設置等を評価いただきました。

障害者一人ひとりにはそれぞれ異なる背景と多様な価値観があります。だからこそ、立場や組織・企業の枠を超えて対話を重ね、互いの発想や考え方を尊重し活かすことで、新たなイノベーションが生まれ、企業価値の向上や個人の成長につながります。当社は、これからも障害者活躍推進をはじめ、多様な人財の育成と持続可能な社会の実現に貢献します。

(注1) <https://www.sapporoholdings.jp/sustainability/human/humanresources/diversity/>

■障害者同士の交流会「エッキョウサミット」詳細

1. 交流会名称 エッキョウサミット
2. 参加企業 (主催)
 サッポロビール株式会社
 (参加企業)
 アサヒビール株式会社、味の素株式会社、キリンホールディングス株式会社、サッポロ不動産開発株式会社、サントリーホールディングス株式会社、昭和産業株式会社、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社、株式会社ニッポン、株式会社 明治(50音順に記載)